

【 画像診断 】**860 CT撮影とMRI撮影（くも膜下出血疑い）の併算定について****《令和8年8月31日》****○ 取扱い**

くも膜下出血疑いに対する、同日のE200 コンピューター断層撮影（CT撮影）とE202 磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）の併算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

くも膜下出血を疑った場合、一般的にはまずCT撮影で出血の確認を行うが、出血量が少ないと判断が難しい場合があり頭部MRA撮影（E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影）での確認が必要となる。また、頭部MRA撮影では、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の存在も確認できる場合もあり、頭部MRA撮影を併せて実施することは、診断上有用性が大きいと考える。

以上のことから、くも膜下出血疑いに対する、同日のE200 コンピューター断層撮影（CT撮影）とE202 磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）の併算定は、原則として認められると判断した。